学校番号	206

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育　男子	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	－						
副教材等	－						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

集団で動く際のルールやマナーを学んでいくこと、またスポーツを楽しむことを前提とした体育の授業を行います。
積極的に、自主的に授業を受けてくれることをのぞみます。

２　学習の到達目標

１．　健康の保持増進と体力の向上を図り、強健な心身を養う。
２．　生涯を通じて運動を実践する能力や態度を育てるとともに、健康な生活を営むことができるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して自ら計画的に運動をしようとする。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基本的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	観察 授業態度 ワークシート	観察 授業態度 ワークシート	観察 技能テスト	観察 授業態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	からだ作り運動	集団行動 徒手体操	○	○	○	○	a からだの調子を整え、仲間と楽しく交流する。 b グループワークにて課題を見つけ意見を出し合い解決をする。 c 動作が正確であるか。 d からだの動かす部位を理解する。	・授業態度 ・ワークシート ・技能テスト
後期	陸上競技	長距離走	○	○	○	○	a 長距離走を速く走るために、どのようなフォームで走ればよいか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に調べ取り組む。 b 速く走るために効果的な練習を、自己や集団の能力に応じて、考えながら実行する。 c 短距離走とは異なる，ストライド走法、ピッチ走法などから，自分にあったフォームを取り入れ、ペース配分などを考えながら走る。 d 長距離走を速く走るために、どのようなフォームで走ればよいか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に調べ取り組む。	・授業態度 ・ワークシート ・技能テスト

		投擲	○	○	○	○	a どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に調べ取り組む。 b 砲丸投げ・やり投げについて、より遠くに飛ばすために、どのようなフォームで投げればよいか考える。 c 正しい助走、正しい投げ方を習得できているか。 d 遠くに飛ばすために、効果的な練習を、自己や集団の能力に応じて、考えながら実行する。周囲の人に危険が及ばないか十分に注意しながら、練習を行おうとする。	
後期	陸上競技	跳躍	○	○	○	○	a どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に調べ取り組む。 b 砲丸投げ・やり投げについて、より遠くに飛ばすために、どのようなフォームで投げればよいか考える。 c 正しい助走、正しい投げ方を習得できているか。 d 遠くに飛ばすために、効果的な練習を、自己や集団の能力に応じて、考えながら実行する。周囲の人に危険が及ばないか十分に注意しながら、練習を行おうとする。	

前期	水泳競技	平泳ぎ	○	○	○	○	A 陸上運動とは異なる、水中という環境の中で水の特性をつかみ、積極的に泳法を学び取る。 b 速く、また長く泳ぐために効果的な練習を、自己の能力に応じて考えながら実行する。 c ビート板などの補助器具を用いるなどして、足の動き、手の動き、息継ぎなどの基礎的な動きを身につける。手と足のコンビネーション、手の動作と呼吸のタイミングなどの技能を習得し、正しいフォームで速く・長く泳ぐ。 d 平泳ぎの技能について、正しいイメージをもつ。安全面の配慮を、心肺蘇生法などとも関連させながら理解する。	・授業態度 ・ワークシート ・技能テスト

後期	球技	卓球	○	○	○	○	a 卓球の基本的な技能を身につけるための効果的な練習方法を考え、積極的に実行する。 b 相手の動きや打球に対して、より有効な攻撃を考え、ゲームに生かす。ダブルスでは、パートナーの特徴を生かした攻撃を考える。 c ロング・ショート・カットなどの打法や・サービス・レシーブなどの基本を着実に身につけ、多彩なプレーを組み立てる。 d ネット型のゲームの特性や卓球のルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための正しい知識をもつ。	・授業態度 ・ワークシート ・技能テスト
	器械運動	マット運動	○	○	○	○	a マット運動の技能を知り、技能の獲得のために、互いに補助をしあったりして、積極的に練習に取り組む。 b 各種の技の特性を知り、基本となる技から順を追って系統的、計画的に自己の能力に応じて、危険のないように考えながら練習する。 c 前転や後転、倒立などの基礎的な技能を着実に身につけた後、自己の能力に応じて、さらに発展した技能を身につけ、それらを組み合わせた演技をする。 d マット運動の技を、系統的に理解する。器具の点検、補助の仕方など、安全面での配慮の仕方について正しい知識をもつ。	・授業態度 ・ワークシート ・技能テスト

通年	武道	柔道・剣道	○				a 互いに協力するとともに，勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。	
				○			b 安全に練習ができるようにするとともに，計画的な練習や試合の工夫ができるようにする。	
					○		c 自己の能力に応じて技能を高め，相手の動きに対応した攻防ができるようにする。	
						○	d 技のかけ方や礼法の知識をもつ。	
		ダンス	○				a みんなで楽しく交流し、発表することができるようにする。	
				○			b 自己の能力に応じた課題をもって、いろいろなテーマによる即興表現を工夫したり、気に入ったテーマを作品にまとめる	
					○		c 音楽にあわせて特有の表現やステップを習得する	
						○	d 表現したいテーマを全身の動きで自由に表現する創作ダンスの特性を理解する。	

前期	球技	バスケットボール	○				a バスケットボールの基本的な集団技能や個人技能を身につけ、具体的な作戦を立てて、積極的にゲームに臨む。	
				○			b ゲームのなかで、その時々に自らに求められるプレーを、チームメイトとの関係も考慮して適切に選択する。	
					○		c パス・ドリブル・シュートなど基礎的な技能を身につけ、ゲーム中の、オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して、互いに協力して、有効な動きを身につける。	
						○	d ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解する。ゲームのルールを正しく理解し、審判法を身につける。	
		ラグビー	○				a ラグビーの基本的な技能を身につけるとともに、それを集団的な技能に結びつけるための練習を積極的に行う。	
				○			b ゲームのなかで、その時々に自らに求められるプレーを、チームメイトとの関係も考慮して適切に選択する。	
					○		c 基礎的な技能を身につけ、ゲーム中の具体的な攻防の場面を想定し、互いに協力して、有効な動きを身につける。	
						○	d ゴールで得点することを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解する。ゲームのルールを正しく理解し、審判法を身につける。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。